



## エジプト・パレスチナ：エジプトの裁判所がハマースをテロ組織に指定

2月28日、エジプトの緊急国家裁判所はパレスチナのハマースをテロ組織に指定した。同裁判所は、1月31日にも、ハマースの軍事部門「カッサム旅団」をテロ組織に指定していた。3月1日、ガザでエジプトの裁判所の判決に抗議する集会が開催されたが、参加者は数千人程度だったようである。

エジプト軍は、シナイ半島の治安悪化に対応して、2012年夏頃から、ガザとエジプト側を結ぶ地下トンネルの破壊を強化した。2013年秋頃までに、地下トンネルの約95%を破壊し、2014年1月時点では、破壊したトンネルは約1200本になると報道されていた。2014年以降、エジプト軍は、ガザとの境界地帯に緩衝地帯を設置する工事を開始し、12月までに幅500メートル、長さ10キロの無人地帯を造設した。2015年1月からは、緩衝地帯の幅を1キロメートルに拡張するための第二期工事が開始されている。エジプト軍のトンネル破壊により、ガザへの密輸物資搬入が激減し、ハマースのガザ統治は財政的に破綻した。

2014年夏にガザの武装勢力とイスラエル軍との間の戦闘が激化した際には、エジプトは停戦の仲介を行ったが、ラファ（ラファフ）境界事務所の管理を緩めることはなく、支援物資や負傷者の通過を大幅に増加させることはなかった。8月末に停戦が発効した後、カイロで停戦内容の協議が開催される予定であったが、10月以降はエジプトがガザ代表団のラファ境界通過を認めないため代表団がカイロに行けず、停戦協議は行なわれていない。またエジプトは、ガザ復興のための物資搬入を許していない。ラファ境界は、例外措置として時折、短時間開放されるだけである。

### 評価

ムスリム同胞団との抗争を続けるエジプトは、ハマースが国内でのテロに関与あるいは支援しているとの疑惑を強めていた。今回エジプトの裁判所が、ハマース政治部門と軍事部門をテロ組織に指定したことで、エジプト政府のハマースに対する公式な対応はいっそう厳しくなるだろう。さらに重要なことは、アラブの国が、ハマースをテロ組織に指定したことである。ハマースが、パレスチナ解放の大義名分さえ掲げていれば、パレスチナ及びアラブ世界で無条件の支持を受ける時代は終わりつつあることを、エジプトの対応は示しているかもしれない。

(中島主席研究員)

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

◎各種情報、お問い合わせは中東調査会 HP をご覧下さい。URL : <http://www.meij.or.jp/>